

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和3年度

めざす姿	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市長室)政策審議室／(市民生活部)自治振興課／(経済部)グリーンセンター／(教育総務部)生涯学習課・文化推進室・中央図書館・科学館・スポーツ課

●施策の基本方針(目標)
自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅱ－3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	34.4(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	32.200	0.000				
指標②	名称	生涯学習施設の利用者数				単位	人
	目標値	6,559,586(令和7年度)	現状値	6,202,448(令和元年度)		指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	4,419,145.000	0.000				
指標③	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度計画額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
	事業費	2,066,767	2,059,119	2,314,067	0	0
	概算人件費	808,003	735,699	732,465	0	0
	総事業費	2,874,770	2,794,818	3,046,532	0	0

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 54	単位施策③ 54	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和3年度

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

単位施策名 ① 生涯学習活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
社会教育活動運営事業	教育総務部 生涯学習課	2,114	2,299	2,299	0	0	56	現状維持で実施
		395	385	385	0	0		
社会教育団体補助事業	教育総務部 生涯学習課	407	1,145	1,145	0	0	52	現状維持で実施
		158	154	154	0	0		
市民大学事業	教育総務部 生涯学習課	1,843	3,808	3,808	0	0	56	現状維持で実施
		4,740	4,620	4,620	0	0		
公民館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	82,099	93,901	93,901	0	0	52	現状維持で実施
		260,700	254,100	254,100	0	0		
中央ふれあい館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	8,506	9,613	9,613	0	0	52	現状維持で実施
		31,385	31,145	31,145	0	0		
生涯学習プラザ施設運営費	教育総務部 生涯学習課	2,091	3,102	3,102	0	0	56	現状維持で実施
		19,500	19,100	19,100	0	0		
文化会館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	6,894	9,034	9,034	0	0	42	縮小して実施
		31,100	0	0	0	0		
図書館施設運営費	教育総務部 中央図書館	525,286	528,648	518,885	0	0	58	現状維持で実施
		276,500	269,500	269,500	0	0		
映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	教育総務部 中央図書館	49,296	49,297	49,297	—	—	54	現状維持で実施
		2,765	2,618	2,618	—	—		
科学展示施設運営費	教育総務部 科学館	42,502	43,443	44,048	0	0	56	現状維持で実施
		17,459	17,017	17,017	0	0		
天文台施設運営費	教育総務部 科学館	465	613	613	0	0	54	現状維持で実施
		11,929	11,627	11,627	0	0		
プラネタリウム施設運営費	教育総務部 科学館	16,529	16,172	16,622	0	0	54	現状維持で実施
		13,509	13,167	13,167	0	0		
特別企画事業費	教育総務部 科学館	6,743	6,962	7,562	0	0	58	現状維持で実施
		7,268	7,084	7,084	0	0		

単位施策名 ② スポーツ・レクリエーション活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
オリンピック・パラリンピック関連事業	市長室 政策審議室	28,567	—	—	—	—	52	完了
		23,700	—	—	—	—		
オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	教育総務部 スポーツ課	1,200	1,500	1,500	0	0	54	現状維持で実施
		632	462	462	0	0		
体育施設維持補修費	教育総務部 スポーツ課	66,332	63,500	63,500	0	0	58	現状維持で実施
		8,295	8,085	8,085	0	0		
体育施設整備費	教育総務部 スポーツ課	111,324	235,563	235,563	0	0	58	現状維持で実施
		2,449	2,387	2,387	0	0		
東スポーツセンター設備改修事業	教育総務部 スポーツ課	167,159	—	—	—	—	58	他事業に統合されて実施
		2,449	—	—	—	—		
流水プール施設運営費	経済部 グリーンセンター	490	—	—	—	—	38	他事業に統合されて実施
		0	—	—	—	—		

単位施策名	② スポーツ・レクリエーション活動の支援							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
スポーツ推進審議会事業	教育総務部 スポーツ課	168	194	189	0	0	58	現状維持で実施
		1,185	1,155	1,155	0	0		
中学校・高等学校運動指導者派遣事業	教育総務部 スポーツ課	1,286	2,090	4,031	0	0	56	現状維持で実施
		632	539	539	0	0		
各種体育大会開催事業	教育総務部 スポーツ課	296	496	819	0	0	54	現状維持で実施
		2,765	2,310	2,310	0	0		
体育関係表彰事業	教育総務部 スポーツ課	329	625	709	0	0	54	現状維持で実施
		2,765	2,926	2,926	0	0		
ツーデーマーチ実行委員会交付金	教育総務部 スポーツ課	250	1,978	1,978	0	0	48	現状維持で実施
		6,960	4,620	4,620	0	0		
学校体育協会事業	教育総務部 スポーツ課	2,323	4,011	4,275	0	0	56	現状維持で実施
		5,293	6,160	6,160	0	0		
スポーツ協会事業	教育総務部 スポーツ課	41,921	61,012	68,252	0	0	56	現状維持で実施
		2,370	2,310	2,310	0	0		
スポーツ推進委員協議会事業	教育総務部 スポーツ課	10,933	13,013	13,519	0	0	56	現状維持で実施
		4,740	5,005	5,005	0	0		
レクリエーション協会事業	教育総務部 スポーツ課	2,205	3,845	3,878	0	0	54	現状維持で実施
		4,898	4,697	4,697	0	0		
スポーツ少年団事業	教育総務部 スポーツ課	1,200	1,200	1,200	0	0	56	現状維持で実施
		5,293	4,928	4,928	0	0		
スポーツ推進補助事業	教育総務部 スポーツ課	14,117	15,927	15,927	0	0	54	現状維持で実施
		1,185	1,001	1,001	0	0		
青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	160,714	160,715	160,715	0	0	56	現状維持で実施
		2,449	3,696	3,696	0	0		
戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	140,406	140,406	140,406	0	0	58	現状維持で実施
		2,449	3,696	3,696	0	0		
スポーツ教室開催事業費	教育総務部 スポーツ課	1,158	1,247	1,786	0	0	54	現状維持で実施
		553	616	616	0	0		

単位施策名	③ 文化芸術活動の支援							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
市民コンサート事業	教育総務部 文化推進室	770	1,104	1,104	0	0	56	現状維持で実施
		2,212	2,156	2,156	0	0		
文化振興交付事業	教育総務部 文化推進室	11,834	13,737	13,737	0	0	48	現状維持で実施
		10,349	10,549	10,549	0	0		
美術館建設等検討事業	教育総務部 文化推進室	12,220	3,869	280,000	0	0	56	現状維持で実施
		2,686	3,080	3,080	0	0		
寄贈作品展事業	教育総務部 文化推進室	5,340	24,000	0	0	0	48	現状維持で実施
		2,291	3,234	0	0	0		
アートギャラリー企画関係費	教育総務部 文化推進室	6,622	8,093	8,093	0	0	54	現状維持で実施
		12,640	12,320	12,320	0	0		
総合文化センター指定管理者管理運営費	市民生活部 自治振興課	519,600	520,100	520,100	0	0	58	現状維持で実施
		2,054	2,002	2,002	0	0		
芸術賞賞賜事業	教育総務部 文化推進室	911	1,183	1,183	0	0	56	現状維持で実施
		2,054	2,156	2,156	0	0		
文化団体補助事業	教育総務部 文化推進室	1,900	1,900	1,900	0	0	56	現状維持で実施
		1,027	1,232	1,232	0	0		
アートギャラリー事業運営費	教育総務部 文化推進室	10,417	9,774	9,774	0	0	50	現状維持で実施
		14,220	13,860	13,860	0	0		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	社会教育活動運営事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市社会教育委員設置条例 第1条／川口市公民館運営審議会条例 第1条川口市生涯学習プラザ運営審議会条例 第1条／川口市立中央ふれあい館運営審議会条例 第1条					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育委員、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会		社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市社会教育の諸事業について、市民の意見を広く反映させるため、審議し意見助言をいただくものである。また、公民館等の運営審議会については、地域住民の意見・要望等を十分に反映するため、館長の諮問機関として会議を実施する。		社会教育関係委員会議の開催・社会教育委員会議・公民館運営審議会・生涯学習プラザ運営審議会・中央ふれあい館運営審議会	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	社会教育委員会議、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会を開催した。		社会教育の諸事業・施設運営について審議し、委員をととして市民の意見を広く反映させることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数				指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会議及び公民館等運営審議会の開催回数					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		36.00		36.00		36.00		36.00		36.00		
		実績値・達成状況	35.00		37.00	—	36.00	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	1 目	2 細目	1 細々目	社会教育活動運営事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	2,357	2,344		2,224		2,299		2,299		
決算額(B)=(C)+(D)	1,993	2,157		2,114						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,993		2,157		2,114		2,299		
概算人件費(E)		395		395		395		385		385
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,388	2,552		2,509		2,684		2,684		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	特になし。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	社会教育団体補助事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	・川口市補助金等交付規則・川口市婦人団体連絡協議会補助金交付要綱・川口市PTA連合会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口市PTA連合会・川口市婦人団体連絡協議会		・川口市で教育を受ける子供・婦人団体活動に関わる市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市PTA連合会及び川口市婦人団体連絡協議会の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図ることを目的とする。		川口市PTA連合会及び川口市婦人団体連絡協議会に対し、補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。		・市内各学校PTA相互の連絡調整及び本市教育の向上の進展に寄与した。・市内婦人団体の育成に努めるとともに健全なる家庭生活の建設に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	1 目	2 細目	3 細々目	社会教育団体補助事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		1,145		1,145		1,145		1,145		1,145
決算額(B)=(C)+(D)		1,145		1,102		407				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,145		1,102		407		1,145		
概算人件費(E)		158		158		158		154		154
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,303		1,260		565		1,299		1,299

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	特になし。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	市民大学事業				担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市市民大学設置要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方		市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	生涯学習が進展する中で、市民の高度で多様な学習意欲に応える。市民が「生きがいづくり」「自己実現」を達成し、より豊かで充実した人生を送ることに貢献する。		市内外の高等教育機関や公民館等の社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等を取りあげる講座を開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	大学講師、川口市人材バンク魅学、川口市役所内の各課・所等に協力をいただき、歴史、環境、情報機器、公共施設見学等広い分野の講座を実施した。また、新たな試みとして、Zoomや動画視聴といったオンライン講座を実施した。		歴史、環境、情報機器、公共施設見学等多岐にわたる33講座、135回を実施し、市民の学習意欲に応えることを目的として実施した。また、新たな試みとして、Zoom講座1講座4回、動画視聴5講座20回のオンライン講座を実施した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市民大学講座数				指標・目標値の説明(算定式)	35講座実施する					
	単位	講座	指標の種別	活動								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		38.00		0.00		36.00		35.00		137.00		
実績値・達成状況		38.00		0.00		33.00	未達成					
指標②	名称	受講生の満足度				指標・目標値の説明(算定式)	受講生アンケートにおいて、「とても満足」「満足」と回答した割合の平均値					
	単位	%	指標の種別	成果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		80.00		80.00		80.00		85.00		85.00		
		実績値・達成状況		96.10		0.00		85.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	1 目	4 細目	1 細々目	市民大学事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		4,282		0		2,226		3,808		3,808
決算額(B)=(C)+(D)		3,556		0		1,843				
財源※	特定財源(C)	266		0		0		300		
	一般財源(D)	3,290		0		1,843		3,508		
概算人件費(E)		4,740		0		4,740		4,620		4,620
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	0.60
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		8,296		0		6,583		8,428		8,428

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	例年の市民大学受講者は、60代や70代の高齢者が多かったが、オンライン講座の受講者では20代、30代の働き世代の受講が見受けられた。今後も、若者の参加を促せるような企画をしていきたい。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	公民館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7654	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルス対策をしながら、市民に施設の貸出及び講座を実施した。	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室開催件数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		830.00		830.00		830.00		830.00		830.00		
	実績値・達成状況	1,195.00	達成	121.00	未達成	373.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	2 目	1 細目	1 細々目	公民館施設運営費			
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)		98,261		91,034		82,355		93,901		93,901		
決算額(B)=(C)+(D)		94,932		69,436		82,099						
財源※	特定財源(C)	30,735		38,930		0		0				
	一般財源(D)	64,197		30,506		82,099		93,901				
概算人件費(E)		260,700		260,700		260,700		254,100		254,100		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		355,632		330,136		342,799		348,001		348,001		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	コロナ禍においても、幅広い年齢層の方々が利用しており、市民の多様な学習ニーズはますます高度化しているため、事業内容の充実が求められている。このことから、感染症対策を講じつつ、オンライン講座の活用を含め、魅力ある内容の事業を実施するよう努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	中央ふれあい館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-222-2798	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。		学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座を開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	高齢者向けに健康増進と維持に関する若返り健康講座、そして終活ナビ、一般向けに手作り味噌教室、子ども向けに子どもスポーツひろば、子ども料理教室を実施した。		川口駅に近いという利便性があり、また貸出し可能な部屋数も多いことから多数の方が利用したことで、市民の生涯学習活動の支援に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(中央ふれあい館)				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		200,000.00		200,000.00		200,000.00		200,000.00		200,000.00		
	実績値・達成状況	170,169.00	未達成	89,527.00	未達成	123,319.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	6 項	3 目	1 細目	1 細々目	中央ふれあい館施設運営費	
年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		9,529	8,934		8,938		9,613		9,613
決算額(B)=(C)+(D)		8,659	6,708		8,506				
財源※	特定財源(C)	8,659	6,601		0		0		
	一般財源(D)	0	107		8,506		9,613		
概算人件費(E)		31,385	31,385		31,385		31,145		31,145
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.20	1.65	3.20	1.65	3.30	1.55
				3.20	1.65	3.20	1.65	3.30	1.55
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		40,044	38,093		39,891		40,758		40,758

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	依然としてコロナ禍の状況ではあったが、前年度に比べ、実施した事業は増加した。しかし今後も参加者の安全面を考慮し講座開催方法の検討・改善に努める。今後も施設の良好な維持管理に努め、地域の多様化するニーズを速やかに把握し、事業内容に反映できるよう検討することが肝要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	生涯学習プラザ施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-253-1444	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立生涯学習プラザ設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	生涯学習プラザ利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民へ生涯にわたる学習の機会を提供し、市民相互の学び合い及び交流を促進することにより、生涯学習活動の振興を図るとともに、福祉の増進に寄与することを目的とする。	現代的・社会的課題への対応として、環境教育・消費者教育及び高齢者教育等の事業の実施の他に、子育て支援や趣味・教養の事業の充実を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	古文書入門赤ちゃんと一緒にふれあいセミナー手作りみそ教室親子パン作り教室子育てホッとサロン	新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、歴史講座や子育て支援の講座を実施した。市民へ学習の機会を提供し、生涯学習活動の支援に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(生涯学習プラザ)			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
		25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00			
	実績値・達成状況	54,454.00	達成	28,732.00	達成	37,039.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	4 目	1 細目	1 細々目	生涯学習プラザ施設運営費			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	3,401	3,306	3,379	3,102	3,102					
決算額(B)=(C)+(D)	3,059	1,578	2,091							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	3,059	1,578	2,091	3,102					
概算人件費(E)	19,500	19,500	19,500	19,100	19,100					
従事職員人数(人)	常勤 再任用	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 1.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	22,559	21,078	21,591	22,202	22,202					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、計画していたいくつかの事業を中止した。今後については、事業を行う中で感染予防対策をしっかり行い、多様化するニーズの把握に努め、施設の特徴に応じて事業を実施する。また、施設の利用率が低下しないよう施設の維持管理に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	文化会館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-3612	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤者、および利用者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。		音楽会、講演会などの主催および共催事業の実施。①おかあさんコーラスの集い②サロンコンサート③文化講演会	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	①おかあさんコーラスの集い・・・新型コロナウイルス感染症予防のため中止②サロンコンサート・・・新型コロナウイルス感染症予防のため中止③文化講演会・・・新型コロナウイルス感染症予防のため中止		事業が実施されれば、多くの川口市民の芸術・文化活動の発展に寄与することができる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主事業における年間利用者数				指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		1,220.00		1,220.00		1,220.00		1,220.00		1,220.00		
	実績値・達成状況	748.00		0.00		0.00		未達成				
指標②	名称	貸館事業における年間利用者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		55,000.00		55,000.00		55,000.00		55,000.00		55,000.00		
	実績値・達成状況	24,521.00		10,325.00		19,278.00		未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	5 目	1 細目	1 細々目	文化会館施設運営費		
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)		1,417		8,008		7,804		9,034		9,034	
決算額(B)=(C)+(D)		1,392		6,617		6,894					
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	1,392		6,617		6,894		9,034			
概算人件費(E)		26,400		23,200		31,100		0		0	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	5.00	2.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		27,792		29,817		37,994		9,034		9,034	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	7 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	不明	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	不明	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
42 ／60	(1)地域の諸機関、団体と連携し、各種事業を展開する。 (2)市民ニーズに応えられる芸術・文化を低廉な価格で提供する。 (3)地域の学校と連携し、生徒・児童に対して、芸術・文化に触れ、発表する機会を提供していく。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	図書館施設運営費				担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	全市民(施設利用者)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の知的自由を支え、知的欲求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援する。	生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・7月から図書館公式YouTubeチャンネルを開設し、図書館のPRを行った。・事前申込制に変更して10月からおはなし会を再開した。・感染対策を講じ、「読み聞かせボランティア講座」「点訳奉仕者研修会」「音訳奉仕者研修会」を開催した。	安全に配慮したサービス提供を行った活動結果として、入館者1,380,848人、移動図書館利用者4,462人の利用があった。成果として、個人の生活を豊かにし、社会の一員としての能力を高めるという生涯学習の充実に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数(図書館)				指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数。					
	単位	人		指標の種別	結果		目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定					
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		1,800,000.00		1,800,000.00		1,800,000.00		1,800,000.00		0.00		
	実績値・達成状況	1,608,239.00	未達成	988,335.00	未達成	1,380,848.00	未達成					
指標②	名称	おはなし会参加人数				指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数。目標値:前年度の実績を参考に決定					
	単位	人		指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		6,800.00		6,800.00		6,800.00		0.00		0.00		
		実績値・達成状況	5,449.00	未達成	155.00	未達成	899.00	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	6 目	2 細目	1 細々目	図書館施設運営費			
年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度		令和4年度	令和5年度		
予算額(A)	494,210	513,948			528,395		528,648	518,885		
決算額(B)=(C)+(D)	488,417	509,684			525,286					
財源※	特定財源(C)	34,982			109,127		9,889			
	一般財源(D)	453,435			416,159		518,759			
概算人件費(E)		276,500			276,500		269,500	269,500		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		764,917			786,184		801,786	798,148		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 ／60	安心して来館できるように感染予防対策を講じるとともに、魅力ある蔵書構成、企画展示及び利用啓発を行い、市民等の生涯学習活動の支援を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ～ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	映像・情報メディアセンターを管理運営する指定管理者	全市民(施設利用者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	多様な住民ニーズに広く対応するため、指定管理者による柔軟かつ総合的な施設運営及びメディアコンテンツを通じた事業等を行い、住民サービスの向上を図ることを目的とする。	映像・情報メディアセンター各種施設の利用提供及び指定管理者が費用等を負担して自らが企画する自主事業を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・開館時間の短縮を行う等、十分な感染予防策の実施により、各種ワークショップ・イベント、企画展示などのサービス業務を継続・リモートワーク、読書・学習用「ワーキングスペース」の貸出(令和2年度から実施)	活動結果としてワークショップ・イベントに4,149人、企画展示に6,151人の参加があった。また、令和2年10月よりオープンした「ワーキングスペース」を継続し、テレワークの支援と住民等のニーズに即したサービスを引き続き実施した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:メディアセンターに来館した人数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		120,000.00		120,000.00		120,000.00		120,000.00		0.00
	実績値・達成状況	116,016.00	—	29,957.00	未達成	44,323.00	未達成			
指標②	名称	貸出施設利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:各種スタジオ(貸館用)の利用件数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		3,300.00		3,300.00		3,300.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	2,933.00	未達成	1,543.00	未達成	2,560.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	7 目	1 細目	1 細々目	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	48,849	49,297		49,297		49,297		49,297		
決算額(B)=(C)+(D)	48,848	49,296		49,296						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	48,848		49,296		49,296		49,297		
概算人件費(E)		2,607		2,607		2,765		2,618		2,618
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.33	0.00	0.33	0.00	0.35	0.00	
				0.33	0.00	0.35	0.00	0.34	0.00	0.34 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		51,455		51,903		52,061		51,915		51,915

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	課題は施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。改善策として、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりとった上で施設の知名度の向上を図り、魅力ある事業を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	科学展示施設運営費				担当	教育総務部	
						科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学展示施設利用者、科学出張教室参加者、チャレンジサイエンス参加者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。		実験ショー、科学体験教室、科学出張教室、適応指導教室における理科指導(チャレンジサイエンス)などの実施展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	科学の原理について学びながら体験することができる「サイエンスショー」、「わくわくワーク」、テーマのあるものづくり・実験・観察を行う「どきどきサイエンス」(インストラクターによる委託事業)、及び「科学ものづくり教室」「夏休み科学教室」等各種講座の開設、博学連携としての出張教室等を行った。		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら実施回数、参加人数を制限して実施した。様々な事業・講座を活用し、科学の原理原則を参加者が楽しみながら学ぶことができた。館外における事業を通じて、学校における学力向上の一環及び理科好きの児童生徒の育成としても効果的に活用された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値78,891人に向けて設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		79,639.00		80,993.00		75,811.00		76,570.00		77,336.00		
	実績値・達成状況	89,305.00	達成	27,825.00	未達成	55,031.00	未達成					
指標②	名称	館外事業参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値9,082人に向けて設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		7,956.00		8,091.00		8,727.00		8,815.00		8,903.00		
	実績値・達成状況	9,371.00	達成	3,332.00	未達成	3,320.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	9 目	2 細目	1 細々目	科学展示施設運営費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		41,631		42,396		42,635		43,443		44,048
決算額(B)=(C)+(D)		41,575		42,049		42,502				
財源※	特定財源(C)	7,107		3,368		6,120		6,826		
	一般財源(D)	34,468		38,681		36,382		36,617		
概算人件費(E)		18,565		18,170		17,459		17,017		17,017
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.35	0.00	2.30	0.00	2.21	0.00	2.21 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		60,140		60,219		59,961		60,460		61,065

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	コロナ禍で人数・回数を削減していたが、館内事業はコロナ以前に迫る実績となった。感染拡大により学校団体の利用が一時キャンセルとなり、入館者数はその分減少したが、週末の利用はコロナ以前より増加している。今後も魅力ある事業を継続し、経年劣化による修繕が必要な展示装置の改修を計画的に実施することが必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	天文台施設運営費				担当	教育総務部
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 科学館利用者、観測会参加者、出張事業参加者、ホームページ閲覧者、関係機関	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 本物の天体を、実際に観測・体験することで深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 第二、第四土曜日に天文台で実施する夜間観測会。太陽観測を中心に三つの天文台を案内する天文台ガイドツアー。天文現象等に合わせた実施する特別観測会。小中学校等に出張し太陽観測、天体観望会を行う出張事業。天文台で撮影した天体の画像をリアルタイムに配信する夜間天体ライブ配信。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 11月～1月に夜間観測会を再開し、5日(1日2回で合計10回)実施、天文台ガイドツアーを8回開催。11月19日に特別観測会「部分月食」を実施。太陽観測出張授業を9・10月に4校で各1回実施。夜間出張観望会を11・12月に中学校等で2回実施。天体画像をライブ配信した事業は全9回実施。	事業の成果【定性的評価】 夜間天体ライブ配信事業はコロナ禍で観測会ができなかった時期に気軽に天体の画像を見ることができるため、多くの方に天体へ関心を持ってもらう効果があった。感染状況により、消毒、人数制限等の対策を講じ実施した夜間観測会では親子での参加も多く実際に観測することで宇宙を身近に感じ更に興味を高めることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台利用者及び観測授業参加者数。令和7年度の目標値1, 379人に向けて設定。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
		1,290.00	1,312.00	1,325.00	1,338.00	1,351.00				
	実績値・達成状況	2,154.00	達成 37.00	未達成 660.00	未達成	未達成				
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値1, 549人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
		1,298.00	1,320.00	1,333.00	1,346.00	1,359.00				
	実績値・達成状況	730.00	未達成 682.00	未達成 351.00	未達成	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	9 目	2 細目	2 細々目	天文台施設運営費			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	852	680	674	613	613					
決算額(B)=(C)+(D)	808	474	465							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	808	474	465	613					
概算人件費(E)	12,561	12,561	11,929	11,627	11,627					
従事職員人数(人)	常勤 1.59 再任用 0.00	1.59 0.00	1.51 0.00	1.51 0.00	1.51 0.00					
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	13,369	13,035	12,394	12,240	12,240					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	天文台ドームでは密の状態の解消が難しい施設のため引き続き感染症対策を十分に講じ事業を実施していく必要があり、定員や受付方法など他の天文台の情報等を収集し改善に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	プラネタリウム施設運営費				担当	教育総務部	
						科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	プラネタリウム施設利用者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。		当日の星空解説、天文トピックスの紹介と番組の投影を行う一般投影。子ども(小学校低学年)向けに星空解説を行うキッズアワー。小中学校の授業の一環として行う投影や保育所等の幼児対象の投影を行う学習投影。子どもから大人まで宇宙を学べる天文講座「宇宙の教室」。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	小学生から大人まで対象の一般投影は木曜・土曜・日曜・祝日と夏・冬・春休みの火曜～金曜日に感染状況により人数制限の増減を行い466回実施。1月は日曜、祝日にキッズアワーを再開し3回実施。小中学校の理科の授業として行う学習投影や保育所等の幼児を対象とした投影を109回実施。天文講座「宇宙の教室」は3月に1回実施。		星空解説は、実際の星空を見て星を探したい等の興味を高める効果があった。番組の投影は天文・科学に関する内容を含み映像を楽しみながら学ぶ機会にもなった。小中学校の学習投影では学校では体験できないプラネタリウムにより星や宇宙の学習の理解が深まった。感染症対策を十分に行い、安心して利用して頂くことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数				指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値36,655人に向けて設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		37,209.00		37,842.00		35,226.00		35,578.00		35,934.00		
	実績値・達成状況	35,846.00	未達成	12,345.00	未達成	25,962.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	9 目	2 細目	3 細々目	プラネタリウム施設運営費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		17,309		13,540		16,629		16,172		16,622
決算額(B)=(C)+(D)		17,287		13,412		16,529				
財源※	特定財源(C)	6,568		2,777		5,159		6,471		
	一般財源(D)	10,719		10,635		11,370		9,701		
概算人件費(E)		13,272		13,272		13,509		13,167		13,167
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.68	0.00	1.68	0.00	1.71	0.00	1.71 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		30,559		26,684		30,038		29,339		29,789

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	プラネタリウムドームの密閉性により換気等の十分な感染症対策が必要であり、日本プラネタリウム協議会のガイドラインを参照し事業を実施した。関係団体との情報交換を密にし更なる安全な事業の実施に努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	特別企画事業費				担当	教育総務部	
						科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学展示施設利用者、市内小・中・高校生		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	常設展示物にはない分野から、1つのテーマを魅力的・専門的に掘り下げる特別展を開催することで、常設展示物とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。また、幅広い年代を対象とした専門性の高い講座や講演会を開催し、参加者が課題意識を持ち、生涯にわたり学ぶ力を身に付ける場を提供する。		館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの人材派遣や展示物の借用、テーマに精通した業者への委託等を活用し、特別展などを開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	国立科学博物館他、多くの関係機関と連携し、特別展「ウンコ展」を開催した。また、「光」をテーマに体験型の特別展「びかり」を開催した。「サイエンスまつり」では、地球温暖化対策係・認定NPO法人川口市環境会議等と連携し、SDGsをテーマに企画展示を実施し、幅広い世代に学びを深める事業を開催することができた。		「ウンコ展」については、コロナ禍においても、同時期のこれまで開催した特別展と比較して、最大の入館者数を記録した。魅力あるテーマ展示を専門的な視点で実施することで、来館者の満足度を高めることができた。さらに、他課との連携によって、科学館を情報発信の場として活用することができたことも成果であった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値29,647人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		30,413.00		30,930.00		28,488.00		28,774.00		29,062.00
	実績値・達成状況	31,960.00	達成	16,242.00	未達成	25,315.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	9 目	2 細目	4 細々目	特別企画事業費			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	6,983	857		7,056		6,962		7,562		
決算額(B)=(C)+(D)	6,984	680		6,743						
財源※	特定財源(C)	0		421		0				
	一般財源(D)	6,984		680		6,322		6,962		
概算人件費(E)		7,110		6,794		7,268		7,084	7,084	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.86	0.00	0.92	0.00	0.92	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,094	7,474		14,011		14,046		14,646		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	利用者に関心の高いテーマを、専門的に解説する特別展を実施するため、他館との協力や視察、職員の研修が不可欠となる。約1年をかけて準備を進めるため、事業負担が大きくなるが、計画的に事業を進めることで今後も魅力ある事業展開をしていくことが必要となる。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	オリンピック・パラリンピック関連事業				担当	市長室
						政策審議室
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7674	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ～ 令和 3 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 市民	
事業の概要	事業の目的(何のために) 東京2020競技大会の機運醸成を図るため、東京2020オリンピック聖火リレー等の運営を行う。また、事前キャンプ地として代表選手を受け入れることで、市内のスポーツの振興や競技力の向上等を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 東京2020オリンピック聖火リレー(出発式)及び機運醸成イベント等の実施。事前キャンプ地として代表選手を受け入れ。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、東京2020オリンピック聖火リレーの実施は中止としたが、機運の醸成を図るために聖火リレー出発記念式や聖火ピジットを実施した。また、事前キャンプとして、難民選手団とROCを受け入れた。	事業の成果【定性的評価】 東京2020オリンピック聖火リレーは中止としたが、出発式やパラリンピック聖火ピジットを行った。また、事前キャンプも受け入れた。その結果、東京2020競技大会への機運醸成を図り、市民のスポーツへの関心を高めることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	東京2020オリンピック聖火リレー			指標・目標値の説明(算定式)	東京2020オリンピック聖火リレーの観覧者数(動画中継の視聴を除く)						
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		—		5,000.00		1,000.00		—		—		
実績値・達成状況	—	—	0.00		未達成	0.00	未達成					
指標②	名称	外国人選手団との交流者数			指標・目標値の説明(算定式)	事前キャンプ地として受け入れた外国選手団との交流者数						
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		—		100.00		20.00		—		—		
実績値・達成状況	—	—	0.00		未達成	0.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2 款	1 項	12 目	1 細目	4 細々目	オリンピック・パラリンピック関連事業			
年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	0	644			29,014		0		0	
決算額(B)=(C)+(D)	0	307			28,567					
財源※	特定財源(C)	0			0		0			
	一般財源(D)	0			28,567		0			
概算人件費(E)		0			23,700		0		0	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0			24,007		52,267		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	受益者なし	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	新型コロナウイルス感染症の状況により、事業の内容及び実施方法などに大きな変更が生じた。社会情勢に応じて、都度的確な判断を下すためにも、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や埼玉県聖火リレー実行委員会等の関連機関との連携を深めておくことは必要である。	翌年度	完了
		翌々年度	

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	JOC強化指定選手又は、加盟団体強化指定選手JPC強化指定選手又は、加盟団体強化指定選手埼玉県「彩の国プラチナアスリート」強化指定選手埼玉県「埼玉パラドリームアスリート」強化指定選手		同左のうち、市内在住者、市内在勤者、市内在学者、過去に市内に住みかつ在学していた者。	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	オリンピック・パラリンピック強化指定選手に激励金を交付することにより大会出場に向けた競技力の向上を図るとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図ることを目的とする。		オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付するもの	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付した。		東京2020オリンピック・パラリンピックでは激励金を交付した選手がメダルを獲得するという結果につながり、市民のスポーツへの関心向上に良い影響を与えた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	7 細々目	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	2,000	2,500		2,000		1,500	1,500			
決算額(B)=(C)+(D)	1,500	1,100		1,200						
財源※	特定財源(C)	0	0		0	0				
	一般財源(D)	1,500	1,100		1,200	1,500				
概算人件費(E)		632	632		632	462	462			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.08	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,132	1,732		1,832	1,962	1,962			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	限られた予算の中で、支援額や支援枠の設定について検討していく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	体育施設維持補修費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設		施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設の維持補修を行う。		安全・安心に施設利用ができるよう、維持補修を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事		老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)										
	単位	指標の種別														
	目標値	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	実績値・達成状況															
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)										
	単位	指標の種別														
	目標値	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	実績値・達成状況															

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	2 細々目	体育施設維持補修費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		83,562		72,051		66,539		63,500		63,500
決算額(B)=(C)+(D)		78,854		71,742		66,332				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	78,854		71,742		66,332		63,500		
概算人件費(E)		2,212		8,295		8,295		8,085		8,085
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.28	0.00	1.05	0.00	1.05	0.00	1.05 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		81,066		80,037		74,627		71,585		71,585

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	経年劣化が進んでいる中、施設を維持するための修繕及び補修工事を行う必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、施設の維持補修を行っていく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	体育施設整備費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託			
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)			
	体育施設			施設利用者及び地域住民			
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	施設管理運営に必要な施設整備を行う。			安全・安心に施設利用ができるよう、より一層の施設整備を図る。			
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】			
	老朽化した体育施設の改修及び補修工事			老朽化した体育施設の施設整備を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	3 細々目	体育施設整備費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		476,108		391,831		116,091		235,563		235,563
決算額(B)=(C)+(D)		365,662		376,314		111,324				
財源※	特定財源(C)	33,900		107,000		0		161,200		
	一般財源(D)	331,762		269,314		111,324		74,363		
概算人件費(E)		2,765		2,765		2,449		2,387		2,387
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.31	0.00	0.31 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		368,427		379,079		113,773		237,950		237,950

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	経年劣化が進んでいる中、施設の設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に施設整備を行う必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	東スポーツセンター設備改修事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	令和	3	年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	東スポーツセンター設備		施設利用者及び地域住民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。		老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	東スポーツセンタープール天井改修工事東スポーツセンタープール配管改修工事東スポーツセンタープール系統制御盤改修工事東スポーツセンター25m児童プール底引きろ過槽電動五方弁工事東スポーツセンタープールオーバーフロー槽漏水工事		老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	6 細々目	東スポーツセンター設備改修事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		115,657		148,032		170,403		0		0
決算額(B)=(C)+(D)		100,715		138,780		167,159				
財源※	特定財源(C)	0		0		4,040		0		
	一般財源(D)	100,715		138,780		163,119		0		
概算人件費(E)		711		790		2,449		0		0
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.10	0.00	0.31	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		101,426		139,570		169,608		0		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期の設備等の改修を行っていく必要がある。		翌年度	他事業に統合されて実施
			翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	流水プール施設運営費			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 令和 3 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション施設である流水プール場(冬季はアイススケート場)を提供し、心身の健康増進に寄与する。	流水プール事業廃止決定に伴い、施設解体に向けて必要最小限の維持管理を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	流水プール場及びアイススケート場の維持管理(委託)、機械設備等の点検・自主検査、施設の不具合箇所の修繕を実施した。	安全・安心な施設維持管理ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	流水プール場(夏季)とアイススケート場(冬季)の入場者数(過去10年間の平均入場者数) 令和2年度は、アイススケート場の入場者数(過去10年間の平均入場者数)とした。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		85,000.00		38,000.00		0.00		—		—		
	実績値・達成状況	67,989.00	未達成	11,001.00	未達成	0.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		6 款	1 項	6 目	3 細目	1 細々目	流水プール施設運営費			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			54,072		38,112		1,104		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)			52,924		37,533		490						
財 源 ※	特定財源(C)		15,786		3,516		0		0				
	一般財源(D)		37,138		34,017		490		0				
概算人件費(E)			7,584		7,584		0		0		0		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.96	0.00	0.96	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			52,924		37,533		490		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	9 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
38 /60	施設・設備の老朽化が顕著であり、活性化基本計画の結果を受け、流水プール事業の廃止が決定したことから、令和4年度からは他事業に統合され実施していく。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	スポーツ推進審議会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進審議会委員		市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。		年2回程度会議を開催。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	第1回川口市スポーツ推進審議会(令和3年7月27日)第2回川口市スポーツ推進審議会(令和4年3月11日)(書面会議)		スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	1 細々目	スポーツ推進審議会事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			208				179		194		194		189
決算額(B)=(C)+(D)			150				154		168				
財源※	特定財源(C)		0				0		0				
	一般財源(D)		150				154		168		194		
概算人件費(E)			1,975				1,185		1,185		1,155		1,155
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.15		0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			2,125				1,339		1,353		1,349		1,344

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。また、神根運動場整備について、市民ニーズに基づいた審議を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部		中学校・高等学校の運動部員	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする。		指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指導者は各学校の運動部活動における技術指導への協力を行った。		専門的な技術を備えた指導者を派遣することにより、市内中学校・高校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、指導を受けた生徒の部活動に対する意欲が高まり、競技力の向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校26人、高等学校3人、計29人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		29.00		29.00		29.00		29.00		29.00
	実績値・達成状況	26.00	未達成	19.00	未達成	23.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	2 細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	2,095	2,095		2,090		2,090		4,031		
決算額(B)=(C)+(D)	1,499	759		1,286						
財源※	特定財源(C)	178	0		0		0			
	一般財源(D)	1,321	759		1,286		2,090			
概算人件費(E)		632	632		632		539		539	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.07	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,131	1,391		1,918		2,629		4,570	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	学校、指導者のニーズを把握し、どちらにとっても活用しやすい事業として実施していく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	各種体育大会開催事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	各大会開催要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	各種体育大会		児童・生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ活動をととして児童・生徒の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。		少年少女スポーツ大会(柔道・剣道)少年少女ふれあいなわとび大会 中学校駅伝競走	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・少年少女スポーツ大会(剣道)・少年少女ふれあいなわとび大会(11月、3月の2回通信制により開催)・中学校駅伝競走大会		スポーツ大会を通じて技量の向上が図られるとともに、児童・生徒の体力の向上が図られた。また、大会に向けて練習に粘り強く取り組むなど、精神面の成長が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学校52校×1校平均55人＝5,720人			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		5,720.00		5,720.00		5,720.00		5,720.00	
	実績値・達成状況	1,343.00	未達成	30,054.00	達成	26,552.00	達成		
指標②	名称	少年少女スポーツ大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学生対象の柔道クラブ7団体、剣道クラブ19団体 合計26団体×1団体約13人＝338人			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		338.00		338.00		338.00		338.00	
	実績値・達成状況	354.00	達成	99.00	未達成	192.00	未達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	3 細々目	各種体育大会開催事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		463		470		465		496		819
決算額(B)=(C)+(D)		346		210		296				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	346		210		296		496		
概算人件費(E)		2,765		2,923		2,765		2,310		2,310
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.35	0.00	0.37	0.00	0.35	0.00	0.30 0.00 0.30 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,111		3,133		3,061		2,806		3,129

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業実施について参加人数や実施方法の見直しが必要である。施設規模に応じた大会方法の立案の検討も必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	体育関係表彰事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市体育賞表彰要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手		受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。		・川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・川口市体育三賞授与式(令和4年1月28日:川口リリア音楽ホール)を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。受賞者には、郵送にて表彰物品を送付した。		多くの国際、国内大会が中止される中ではあったが、開催された大会において優秀な成績を収めたアスリートを表彰できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	4 細々目	体育関係表彰事業			
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)		432		578		601		625		709		
決算額(B)=(C)+(D)		413		281		329						
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	413		281		329		625				
概算人件費(E)		2,765		2,765		2,765		2,926		2,926		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.38	0.00	0.38	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		3,178		3,046		3,094		3,551		3,635		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	多くの競技団体が全国大会を実施する中で、大会規模や参加者の参加資格などにより、真に表彰にふさわしい大会が精選する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	ツーデーマーチ実行委員会交付金			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	ツーデーマーチ実行委員会交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツーデーマーチ実行委員会	ツーデーマーチ参加者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、補助金を交付することで、事業の推進を図る。	大会を企画運営し、市内外からのウォーカーにウォーキングの場を提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	令和3年9月18日、19日に第14回川口ツーデーマーチを実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。感染拡大前の準備に関わる会議は開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会を中止した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	5 細々目	ツーデーマーチ実行委員会交付金			
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)		1,700		1,978		250		1,978		1,978		
決算額(B)=(C)+(D)		1,700		283		250						
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	1,700		283		250		1,978				
概算人件費(E)		4,345		4,345		6,960		4,620		4,620		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.55	0.00	0.55	0.00	0.60	0.60	0.60	0.00	0.60	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		6,045		4,628		7,210		6,598		6,598		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	新型コロナウイルス感染症により、開催するにあたって様々な場面で密を避けることや人と人の接触機会を極力減らすなど、次回大会の実施に向けて運営方法の研究が必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	学校体育協会事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	スポーツ基本法／学校体育奨励交付金要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市学校体育協会		・市立小・中・高等学校の児童・生徒		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。		・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会の一部を助成する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・川口市中学校体育大会(市民体育祭(中学校の部)中止に伴う代替大会)・小学校体育授業研究協議会・中学校体育授業研究協議会 の一部を助成した。		・中学校体育大会の開催により、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られた。・指導者の資質・向上を図ることで、児童・生徒のスポーツに親しむ資質・能力の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	1 細々目	学校体育協会事業			
年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度		令和4年度	令和5年度		
予算額(A)	3,360	3,420			2,323		4,011	4,275		
決算額(B)=(C)+(D)	3,079	2,323			2,323					
財源※	特定財源(C)	0			0		0			
	一般財源(D)	3,079			2,323		4,011			
概算人件費(E)		4,740			5,293		6,160	6,160		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.67	0.00	0.67	0.00	0.80	0.00
			0.60	0.00	0.67	0.00	0.67	0.00	0.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,819			7,616		7,616	10,171		
								10,435		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	コロナ禍における大会期間や実施方法、児童・生徒の参加体制など改善する必要がある。大会運営を行う教員の負担軽減策の立案。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	スポーツ協会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	63	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	(公財)川口市スポーツ協会		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	スポーツの功績を表彰し栄誉を讃え、活力と向上精神を刺激することで、スポーツの普及発展につなげる。また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知し、情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図る。		スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行う。また、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などで、より一層の活気を見だし、更には広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	新型コロナウイルスの影響により川口マラソンなど一部の事業は延期又は中止となったが、感染対策をしながらスポーツ教室、各種スポーツ事業、スポーツに関する講演会、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰、広報誌の発刊などの事業の一部を助成した。		スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなった。また、スポーツ表彰により、一層のスポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	2 細々目	スポーツ協会事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		60,044		61,222		61,222		61,012		68,252
決算額(B)=(C)+(D)		60,044		38,471		41,921				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	60,044		38,471		41,921		61,012		
概算人件費(E)		1,975		2,370		2,370		2,310		2,310
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		62,019		40,841		44,291		63,322		70,562

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	コロナ禍における各種事業の開催方法について検討の必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	スポーツ推進委員協議会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の大会やイベントが中止となったが、各種会議を通して、新しい生活様式における市民スポーツの推進について研究した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。 他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。								
	単位	回	指標の種別	活動											
	目標値	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	
		5.00			5.00			5.00			5.00			0.00	
	実績値・達成状況	4.00		未達成	2.00		未達成	4.00		未達成					
指標②	名称	スポーツ推進委員数				指標・目標値の説明(算定式)	当市における定数314人								
	単位	人	指標の種別	結果											
	目標値	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	
		314.00			314.00			314.00			314.00			0.00	
	実績値・達成状況	296.00		未達成	296.00		未達成	290.00		未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	3 細々目	スポーツ推進委員協議会事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			13,945		12,842		12,712		13,013		13,519		
決算額(B)=(C)+(D)			12,789		11,219		10,933						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		12,789		11,219		10,933		13,013				
概算人件費(E)			5,530		5,135		4,740		5,005		5,005		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.65	0.00	0.60	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			18,319		16,354		15,673		18,018		18,524		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	スポーツ推進委員の活動は、地区ごとの特色が強く、統一的な活動状況の確保は困難である。しかしながら、今後においては各地区間の情報交換を図るとともに委員の質を高め、様々なニーズに対応しながら事業を継続的に行っていく必要がある。また、コロナ禍における大会等事業の実施方法について検討していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	レクリエーション協会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市レクリエーション協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、市民の健康増進と体力向上に寄与する。	・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校)・市民レクリエーション祭・各種大会沿道警備・各種会議、表彰 の一部を助成する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・各種会議(総会、理事会、役員会)・表彰の一部を助成した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種大会等が中止になったが、会議を通して来年度以降の大会実施方法が協議された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	4 細々目	レクリエーション協会事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			4,878				3,878		3,878		3,878		
決算額(B)=(C)+(D)			4,878				2,096		2,205				
財源※	特定財源(C)		0				0		0				
	一般財源(D)		4,878				2,096		2,205				
概算人件費(E)			4,740				4,898		4,898		4,697		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.62		0.00	0.62	0.00	0.61	0.00	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			9,618				6,994		7,103		8,542		
											8,575		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	市民ニーズがますます増大することが考えられることから、多くの方が参加し楽しめる事業についてさらに調査研究が必要である。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、事業実施に向けての運営方法の研究が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	スポーツ少年団事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある少年少女を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会講習会・・・救命講習会派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会事務費・・・通信費、需用費 の一部を助成する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	講習会・・・救命講習会、スタートコーチ養成講習会派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会事務費・・・通信費、需用費 の一部を助成した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種大会が中止になったが、実施した救命講習会や各種会議を通して指導者・保護者の資質向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	5 細々目	スポーツ少年団事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	1,200	1,200		1,200		1,200	1,200			
決算額(B)=(C)+(D)	1,200	1,200		1,200						
財源※	特定財源(C)	0	0		0	0				
	一般財源(D)	1,200	1,200		1,200	1,200				
概算人件費(E)		5,135	5,135		5,293	4,928	4,928			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.67	0.00	0.64	0.00
			0.65	0.00	0.67	0.00	0.64	0.00	0.64	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		6,335	6,335		6,493	6,128	6,128			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動・レクリエーション活動・社会活動・文化活動など、幅広く捉えているということを関係者によく理解してもらう。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	スポーツ推進補助事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱／県代表選手派遣交付金交付基準／川口市スポーツ・レクリエーション傷害見舞金に関する規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市在住在勤の方 ・全国大会等の派遣選手(団体または個人)・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内に住所を有する方及び在勤・在学の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援するもの。	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	地域の大会等でスポーツを通じた地域コミュニティの活性化が図られた。県を代表して出場する選手の経費負担が図られた。スポーツレクリエーション等に安心して参加してもらうことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	6 細々目	スポーツ推進補助事業	
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)	15,927	15,927		15,927		15,927		15,927
決算額(B)=(C)+(D)	15,754	13,023		14,117				
財源※	特定財源(C)	0	0		0	0		
	一般財源(D)	15,754	13,023		14,117	15,927		
概算人件費(E)		1,580	1,185		1,185	1,001		1,001
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.15	0.00	0.13	0.00
			0.15	0.00	0.15	0.00	0.13	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		17,334	14,208		15,302	16,928		16,928

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	今年度は新型コロナウイルス感染症対策により多くの大会が中止のため、全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付額は少額であるが、これまで対象となる出場選手が増えていることから予算の増額を検討する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場・体育武道センターを運営する事業者		施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。		専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営業務等を委託した。		川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数(青木町公園総合運動場・体育武道センター)		指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		480,190.00		457,231.00		266,269.00		355,333.00	
	実績値・達成状況	448,662.00	未達成	261,279.00	未達成	348,674.00	達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	4 細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			156,839		159,699		160,715		160,715		160,715		
決算額(B)=(C)+(D)			156,839		159,699		160,714						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		156,839		159,699		160,714		160,715				
概算人件費(E)			1,896		2,054		2,449		3,696		3,696		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.24	0.00	0.26	0.00	0.31	0.00	0.48	0.00	0.48	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			158,735		161,753		163,163		164,411		164,411		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	青木町公園総合運動場は、公園内の施設であり、公園所管課との管理区分に不明確な部分が存在する。公園所管課と管理区分について整理していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚スポーツセンターを運営する事業者		施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	民間ノウハウを活用し、質の高いサービスを提供するとともにコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。		専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度を活用し、コナミスポーツ・日環サービスグループに施設全般の管理運営業務等を委託した。		川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用人数				指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		514,957.00		470,972.00		223,863.00		273,761.00		0.00		
	実績値・達成状況	462,146.00	未達成	219,668.00	未達成	268,631.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	5 細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			137,150		148,474		140,406		140,406		140,406		
決算額(B)=(C)+(D)			137,150		148,473		140,406						
財源※	特定財源(C)		0		8,900		0		0				
	一般財源(D)		137,150		139,573		140,406		140,406				
概算人件費(E)			1,896		2,054		2,449		3,696		3,696		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.24	0.00	0.26	0.00	0.31	0.00	0.48	0.00	0.48	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			139,046		150,527		142,855		144,102		144,102		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	開所から10年以上が経過し、設備や備品の故障が相次いでいる。施設管理者と情報共有を密にし、計画的に改善、更新を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	スポーツ教室開催事業費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市スポーツ教室等開催要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室		スポーツ教室受講者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。		ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催するもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。		教室においては、主に30歳代から70歳代まで幅広い年齢層の参加により開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげるなど、市民のスポーツ振興に貢献することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数／開催回数(目標回数))					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		12.00		13.00		12.00		11.00		0.00		
	実績値・達成状況	12.00	達成	13.00	達成	12.00	達成					
指標②	名称	教室参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数／開催回数(目標回数)」					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		2,140.00		2,080.00		2,140.00		2,040.00		0.00		
	実績値・達成状況	1,325.00	未達成	1,037.00	未達成	1,110.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	2 細目	1 細々目	スポーツ教室開催事業費			
年度		令和元年度		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)		1,209		1,303			1,189		1,247		1,786	
決算額(B)=(C)+(D)		1,068		1,171			1,158					
財 源 ※	特定財源(C)	1,068		508			733		1,247			
	一般財源(D)	0		663			425		0			
概算人件費(E)		553		711			553		616		616	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.09	0.00	0.07	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,621		1,882			1,711		1,863		2,402	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	各スポーツ施設の状況により事業内容や実施件数が異なることから、今後も施設の特性を活かしながら開催について検討が必要である。また、コロナ禍における教室の開催方法についても引き続き調整を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	市民コンサート事業				担当	教育総務部 文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,76-2113	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	広く市民が多彩な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。		市の施設を活用し、多様なジャンルの音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、アーティスト登録制度に登録する若手アーティストの活動の場を提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	令和4年3月6日(日)新郷公民館ホール「春の輝きプラス」出演者Feet5.4によるコンサート		「春の輝きプラス」入場者数80人、新郷公民館で開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため一昨年度から中止していたコンサートは、2年5か月ぶりの開催となった。管楽器のトランペット、トロンボーンを中心とした、コントを織り交ぜた新しい形のコンサートは、生の音楽を身近に感じてもらう機会となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民コンサートへの入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度実績値の110%				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		442.00		165.00		0.00		88.00		0.00
	実績値・達成状況	150.00	未達成	0.00	—	80.00	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	10 目	2 細目	1 細々目	市民コンサート事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	1,281	1,036		896		1,104		1,104		
決算額(B)=(C)+(D)	1,266	0		770						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,266		770		1,104				
概算人件費(E)		2,528		0		2,212		2,156		2,156
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.32	0.00	0.00	0.00	0.28	0.00	0.28	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,794		0		2,982		3,260		3,260

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	今後の課題として、引き続き感染症対策を講じた開催方法や集客方法等を検討する必要がある。また、開催場所の確保は、現在一番苦慮するところであるため、各地区で数年に1度は開催できるよう調整する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	文化振興交付事業				担当	教育総務部
						文化推進室
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,76-2113	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化芸術活動を行う個人や団体		同左及び文化芸術を享受する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立てる。		市内の文化芸術活動を行う個人や団体を補助金の交付によって支援することにより、活動の継続・発展、ひいては市の文化力向上に寄与する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・市内で文化活動を行う個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て4件を採択。新型コロナウイルスの影響により2件が事業延期となり、2件へ助成金(各事業20万円)を交付。 ・青少年ピアノコンクール実行委員会、初午太鼓コンクール、美術展実行委員会、文化祭実行委員会へ交付金を交付。		文化振興助成事業助成金交付2件、交付金交付4件。市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を財政的に支援することにより、活動の継承に寄与し市民の文化芸術に参加、鑑賞する機会を提供した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度の交付要望件数＋1件					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度			令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		12.00			10.00		8.00		5.00		0.00	
実績値・達成状況		9.00	未達成	7.00	未達成	4.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度			令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	10 目	2 細目	4 細々目	文化振興交付事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		12,747		2,196		12,042		13,737		13,737
決算額(B)=(C)+(D)		12,136		2,133		11,834				
財源※	特定財源(C)	1,647		837		945		2,848		
	一般財源(D)	10,489		1,296		10,889		10,889		
概算人件費(E)		10,349		9,796		10,349		10,549		10,549
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.31	0.00	1.24	0.00	1.31	0.00	1.37 0.00 1.37 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		22,485		11,929		22,183		24,286		24,286

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	7 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	川口市文化振興助成事業や、その他助成制度(国、県、財団等)について関係文化団体や個人へと広く周知することに注力し、財政面において支援していくことにより、その文化活動の継続と活性化の一助となることを目指す。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	美術館建設等検討事業				担当	教育総務部
						文化推進室
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,76-2114	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	美術館		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	中核市に相応しい文化の高揚を図り、心豊かな活力ある市民生活の実現に寄与することを目的とし、美術館建設に向け事業を推進する。		・美術館開設に向けての準備。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・美術館建設基本計画の策定・建設候補地での課題の整理・再開発事業による美術館建設についての勉強会の実施		・美術館建設基本計画の策定・建設候補地での課題の整理・再開発事業による美術館建設についての勉強会の実施		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	10 目	2 細目	6 細々目	美術館建設等検討事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	11,972	7,819		12,804		3,869	280,000			
決算額(B)=(C)+(D)	9,268	1,374		12,220						
財源※	特定財源(C)	3	0		0	0				
	一般財源(D)	9,265	1,374		12,220	3,869				
概算人件費(E)		3,555	2,844		2,686	3,080	3,080			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.36	0.00	0.34	0.00	0.40	0.00
			0.45	0.00	0.36	0.00	0.34	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		12,823	4,218		14,906	6,949	283,080			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	美術館建設の候補地として、リアの隣接地が新たに加わったため、今後、まずはリア隣接地での建設の可能性等について早急に調査、検討を行い、本市の文化芸術の振興に資するうえで、優位性が認められた場合には、あらためて建設候補地を変更した後基本設計を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	寄贈作品展事業				担当	教育総務部 文化推進室	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	258-1116,76-2114	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	3	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民共有の財産である本市所蔵の寄贈作品や川口ゆかりの美術作品等を積極的に公開することにより、市内外に向け、本市の魅力を発信するとともに市民の文化力向上に寄与する。		寄贈作品や本市ゆかりの美術作品を中心とした展覧会を川口市立アートギャラリー・アトリアにて行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	令和3年5月15日(土)から5月30日(日)まで、川口市立アートギャラリー・アトリアにて川口市寄贈作品展第二弾「川口のアート、再発見。」展を実施した。令和3年8月21日(土)から9月5日(日)まで、川口市立アートギャラリー・アトリアにて川口市寄贈作品展第三弾「川口のアート、再発見。」展を実施した。		川口市寄贈作品展第二弾「川口のアート、再発見。」展においては、川口市美術家協会会長歴代8名の作品や川口ゆかりの作家の作品を展示し、入場者数は958人となった。川口市寄贈作品展第三弾「川口のアート、再発見。」展においては、日本画や書などを展示し、入場者数672人となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	寄贈作品展における入場者数の平均値(1回あたり)			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の値の110%			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
		—		—		0.00		896.50	0.00
	実績値・達成状況	—	—	—	—	815.00	—		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	10 目	2 細目	7 細々目	寄贈作品展事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		0		0		5,342		24,000		0
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		5,340				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		90		
	一般財源(D)	0		0		5,340		23,910		
概算人件費(E)		0		0		2,291		3,234		0
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		7,631		27,234		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	課題としては感染症対策を講じながらも密にならないよう集客する難しさがあった。今後も広報周知については寄贈作品展の内容や状況に応じて検討していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	アートギャラリー企画関係費				担当	教育総務部	
						文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-253-0222	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	企画展を通じてアートへの関心を高め、美術の鑑賞・創作活動の場を提供することにより、市民の美術に対する意識の高揚を図り、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	・展覧会、講演会、講習会、ワークショップに伴う企画・運営・広報・展覧会実施に伴う展示制作・展覧会会場の管理・運営	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・自主企画展覧会を4事業、68日実施した。・ワークショップを5事業、9日実施した。・実技講座・鑑賞講座・アートさんぽを6事業、9日実施した。・企画展関連イベントを4事業、6日実施した	基幹事業のアーティスト・イン・スクールをはじめ、感染防止対策を徹底し開催した他の企画展やワークショップ等では市民のアートに対する興味を喚起することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主企画事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
		9,453.00	11,888.00	3,938.00	6,372.00	6,404.00			
	実績値・達成状況	11,829.00	達成	3,918.00	未達成	6,340.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	11 目	1 細目	2 細々目	アートギャラリー企画関係費			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	14,723	8,616	8,442	8,093	8,093					
決算額(B)=(C)+(D)	13,181	7,095	6,622							
財源※	特定財源(C)	298	148	197	154					
	一般財源(D)	12,883	6,947	6,425	7,939					
概算人件費(E)	12,640	12,640	12,640	12,320	12,320					
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	25,821	19,735	19,262	20,413	20,413					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの来館者数は微増した。今後も展覧会開催時には徹底した感染症対策を実施すると共に、リピーターを確保するための新たな方法・手段を調査研究していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	完了

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口総合文化センター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口総合文化センター		施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	芸術文化の振興とコミュニティの促進を図り、もって豊かな市民生活の形成と地域社会の発展に寄与することを目的とする。		・川口総合文化センターの施設管理・地域に対する文化芸術の振興	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した。		事故等の問題なく運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	22 目	1 細目	1 細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		502,612		622,114		519,600		520,100		520,100
決算額(B)=(C)+(D)		502,612		622,114		519,600				
財源※	特定財源(C)	65,226		66,211		60,579		66,494		
	一般財源(D)	437,386		555,903		459,021		453,606		
概算人件費(E)		1,343		1,817		2,054		2,002		2,002
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.23	0.00	0.26	0.00	0.26 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	503,955		623,931		521,654		522,102		522,102

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	なし		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	芸術賞賞賜事業				担当	教育総務部	
						文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,76-2113	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	62	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、各種表彰規程					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するものである。		市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・11月3日川口駅前市民ホールフレンディアにて文化三賞表彰式、青少年文化活動奨励賞表彰式を開催。「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。・文化賞受賞者山崎十生氏(令和2年度)、増田昌弘氏(令和3年度)による作品展を同時開催。		受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながらの開催ではあったが、多くの方に参加いただけた。また、会場内で文化賞受賞者作品展を開催することで、一般の方も来場いただくことが出来た。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		315.00		220.00		22.00		220.00		0.00		
	実績値・達成状況	200.00	未達成	20.00	未達成	200.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	10 目	2 細目	3 細々目	芸術賞賞賜事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		1,234		1,172		1,238		1,183		1,183
決算額(B)=(C)+(D)		923		369		911				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	923		369		911		1,183		
概算人件費(E)		2,844		2,291		2,054		2,156		2,156
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.36	0.00	0.29	0.00	0.26	0.00	0.28
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,767		2,660		2,965		3,339		3,339

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	表彰により個人や団体の活動が広がり、盛んになると考えることから、積極的に受賞候補者を推薦してもらうよう関係団体等へさらに働きかけていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	文化団体補助事業				担当	教育総務部
						文化推進室
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,76-2115	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市民音楽協会補助金交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会	文化団体の活動を体験する、鑑賞する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことで、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。	川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会への補助金の交付	補助金により、川口市文化団体連合会及び川口市民音楽協会への活動支援を行えた。新型コロナウイルスの影響は受けたが、市民の自主的な文化芸術活動の振興や、それに携わる人材の育成及び交流を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		121.00		117.00		116.00		110.00		0.00
	実績値・達成状況	117.00	未達成	116.00	未達成	110.00	未達成			
指標②	名称	川口市民音楽協会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		62.00		79.00		77.00		77.00		0.00
	実績値・達成状況	79.00	達成	77.00	未達成	77.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	6 項	10 目	3 細目	1 細々目	文化団体補助事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			2,356				2,300		1,900		1,900		
決算額(B)=(C)+(D)			1,984				1,703		1,900				
財源※	特定財源(C)		0				0		0				
	一般財源(D)		1,984				1,703		1,900				
概算人件費(E)			1,817				1,422		1,027		1,232		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.18	0.00	0.13	0.00	0.16	0.00	0.16	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			3,801				3,125		2,927		3,132		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	文化団体活動を担う若い世代の獲得が課題である。団体への新規加入を目指し、団体のホームページの拡充など活動の周知を図る必要がある。今後も引き続き団体への情報提供や支援を行い、市内の文化芸術団体の活動を促進したい。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	アートギャラリー事業運営費				担当	教育総務部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-253-0222	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び文化共催展などの関係団体(市内学校、川口市美術家協会など)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	文化共催展などの関係団体等に美術の鑑賞・創作活動の場を提供することにより、市民の美術に対する意識の高揚を図り、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	・会計年度任用職員(美術専門補助員)に対する報酬の支払い・展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究・共催展に関する展示、印刷物の配布・美術及び館運営等に関する情報収集	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・共催展覧会を4事業、29日実施した。・貸しギャラリーで8団体、48日の貸館利用があった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となった共催事業もある中で、新たな内容による共催展を開催した。貸しギャラリーにおいては、主催者が館作成の感染症防止対策にて対応を徹底し開催することで、市民の安全とアートに対する興味を喚起することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	共催・連携事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
		17,017.00	19,467.00	0.00	2,180.00	2,190.00				
	実績値・達成状況	19,371.00	達成	0.00	—	2,170.00	—			
指標②	名称	貸館利用の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
		8,670.00	8,137.00	4,139.00	4,210.00	4,231.00				
	実績値・達成状況	8,097.00	未達成	4,119.00	未達成	4,190.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	11 目	1 細目	1 細々目	アートギャラリー事業運営費			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	16,305	12,412	12,704	9,774	9,774					
決算額(B)=(C)+(D)	15,760	10,716	10,417							
財源※	特定財源(C)	1,901	1,077	1,475	1,610					
	一般財源(D)	13,859	9,639	8,942	8,164					
概算人件費(E)	14,220	14,220	14,220	13,860	13,860					
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,980	24,936	24,637	23,634	23,634					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	来館による観覧が現行では唯一の方法であり、今回のような新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況下では来場者が多く見込まれる学校連携事業の開催は難しい。今後も引き続き感染症対策を徹底すると共に、持続可能な共催事業の開催方法・手段を調査研究していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	完了